

令和4年度

境港市男女共同参画に関する市民意識調査

調査結果報告書

境港市

目 次

	ページ
調査の概要	1
I あなたご自身のことについて	3
II あなた自身の考え方や行動、体験などについて	6
III 男女共同参画に関する考えについて	10
IV 仕事と子育て・介護・家庭生活・地域活動の両立について	24
V 政策・方針決定の場への参画について	30
VI 配偶者や恋人等から受ける暴力等について	36
VII 今後の取り組みについて	45

調査の概要

《調査の目的》

この調査は、境港市男女共同参画推進計画「境港市女(ひと)と男(ひと)とのいきいきプラン」の見直しと今後の施策推進の基礎資料とするため実施した。

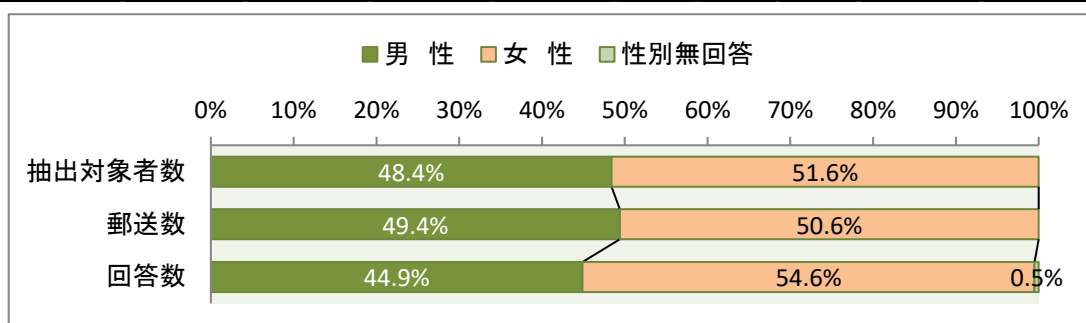
《調査の方法》

- ①調査対象… 市内に在住の満18歳以上の男女
- ②調査地域… 市内全域
- ③調査客体… 1,000人
- ④抽出方法… 起算日を令和4年4月1日として住民基本台帳からの無作為抽出
※男女別のほか、年齢別にも按分率を使用して抽出
- ⑤調査方法… 郵送、WEB
- ⑥調査期間… 令和4年10月1日～10月31日
- ⑦実施主体… 境港市総務部地域振興課
- ⑧調査項目…
 - I あなたご自身のことについて
 - II あなた自身の考え方や行動、体験などについて
 - III 男女共同参画に関する考えについて
 - IV 仕事と子育て・介護・家庭生活・地域活動の両立について
 - V 政策・方針決定の場への参画について
 - VI 配偶者や恋人等から受ける暴力等について
 - VII 今後の取り組みについて

《回答数》

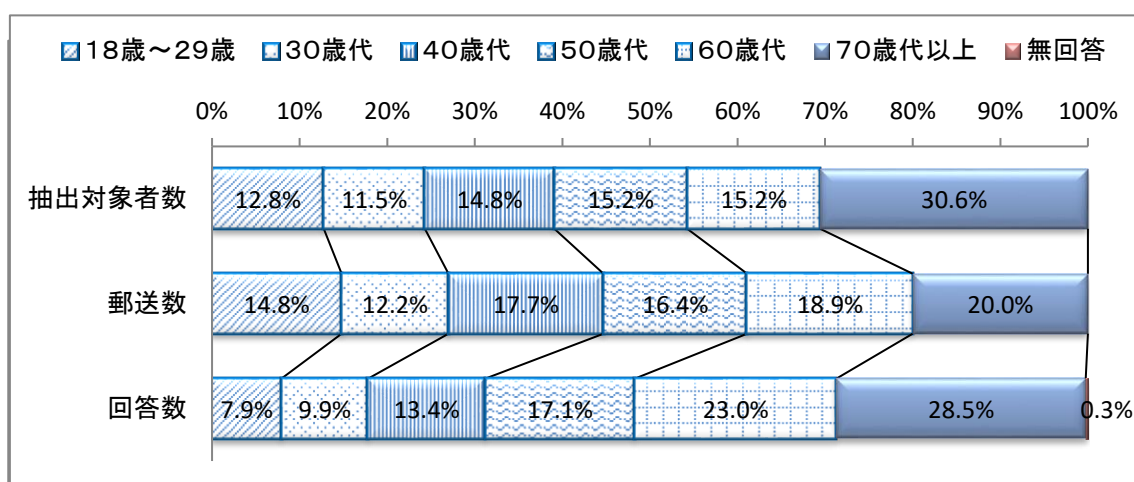
【性別】

区分	抽出対象者数		郵送数		回答数				回答率 (郵送で調査した人の回答率)
	人数	構成比	人数	構成比	回答方法			構成比 (全体)	
					調査用紙	WEB	計		
男性	16,016	48.4%	494	49.4%	149	35	184	44.9%	36.4%
女性	17,100	51.6%	506	50.6%	198	26	224	54.6%	43.9%
性別無回答					2		2	0.5%	
合計	33,116	100.0%	1,000	100.0%	349	61	410	100.0%	40.4%



【年齢階層】

区分	抽出対象者数		郵送数		回答数(郵送分のみ)		回答率
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
18歳から29歳	3,631	12.8%	148	14.8%	32	7.9%	21.6%
30歳代	3,282	11.5%	122	12.2%	40	9.9%	32.8%
40歳代	4,207	14.8%	177	17.7%	54	13.4%	30.5%
50歳代	4,316	15.2%	164	16.4%	69	17.1%	42.1%
60歳代	4,317	15.2%	189	18.9%	93	23.0%	49.2%
70歳代以上	8,692	30.6%	200	20.0%	115	28.5%	57.5%
無回答					1	0.3%	
合計	28,445	100.0%	1,000	100.0%	404	100.0%	40.4%



◎調査客体の抽出は、《調査の方法》④に記載したとおり行ったが、回答者の性別・年齢構成は、上記のとおり差異が見られる。
性別では女性の回答率がやや高くなっており、年齢別では50歳以上の回答率が高くなっている。

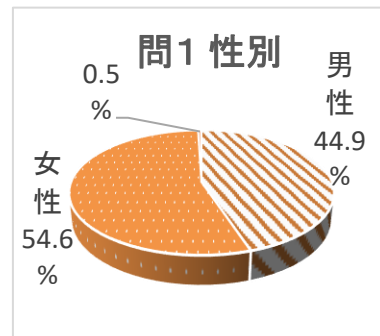
《調査結果のみかた》

- (1) 設問での調査結果の数値は、集計対象者数に対する回答率(%)で表記している。
- (2) 回答率(%)及び構成比率(%)は、少数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表記している。
- (3) 複数回答設問(「3つまで」「いくつでも」というように一対象者が一つの設問に対し複数の選択肢を選ぶことができる設問)においては、得られる回答率(%)は、各選択肢に対する回答数の集計対象者数に対する百分率である。よって、各回答率(%)の合計は100%を超える。
- (4) 図表は、読みやすさを目的として各設問における選択肢を、回答がないものなどについて、適宜省略している箇所がある。

I あなたご自身のことについて

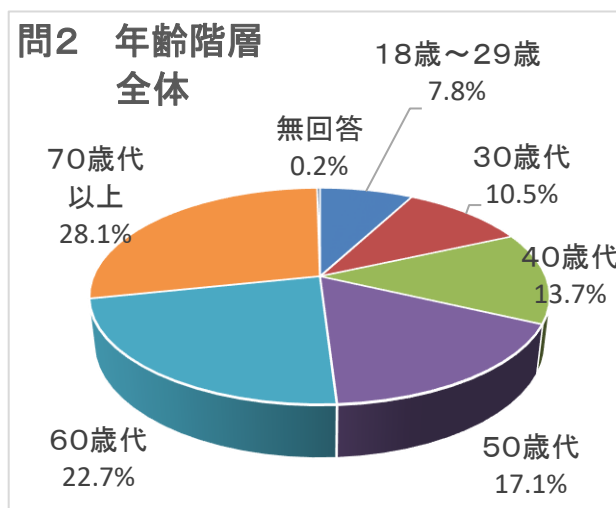
【問1】性別

区分	人数	構成比
男性	184	44.9%
女性	224	54.6%
性別無回答	2	0.5%
合計	410	100.0%



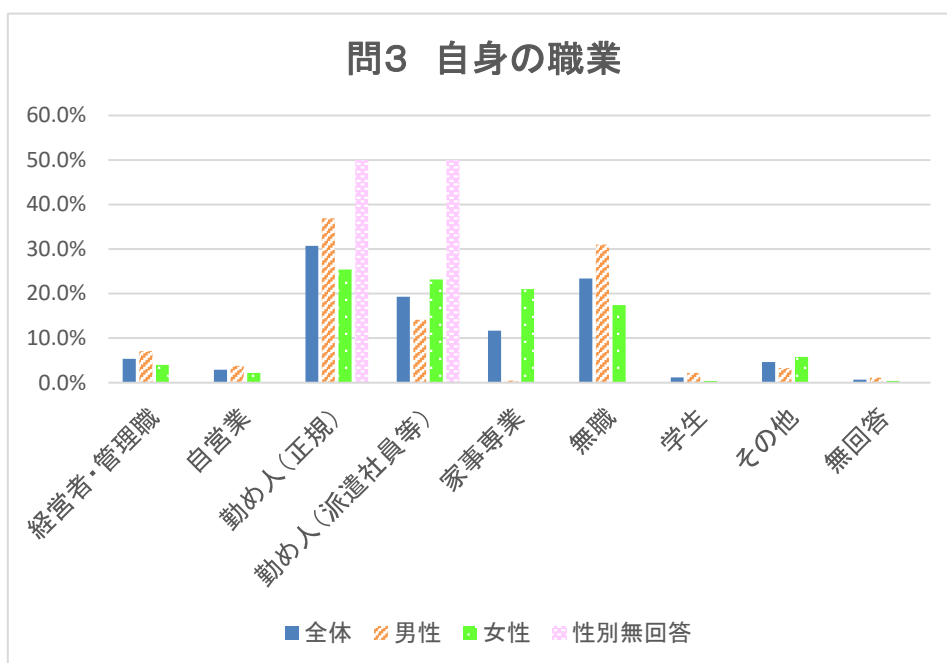
【問2】年齢階層

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
18歳～29歳	32	7.8%	15	8.2%	16	7.1%	1	50.00%
30歳代	43	10.5%	19	10.3%	24	10.7%	0	0.00%
40歳代	56	13.7%	19	10.3%	37	16.5%	0	0.00%
50歳代	70	17.1%	30	16.3%	39	17.4%	1	50.00%
60歳代	93	22.7%	46	25.0%	47	21.0%	0	0.00%
70歳代以上	115	28.1%	55	29.9%	60	26.8%	0	0.00%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.00%
合計	410	100.0%	184	100.0%	224	100.0%	2	100.0%



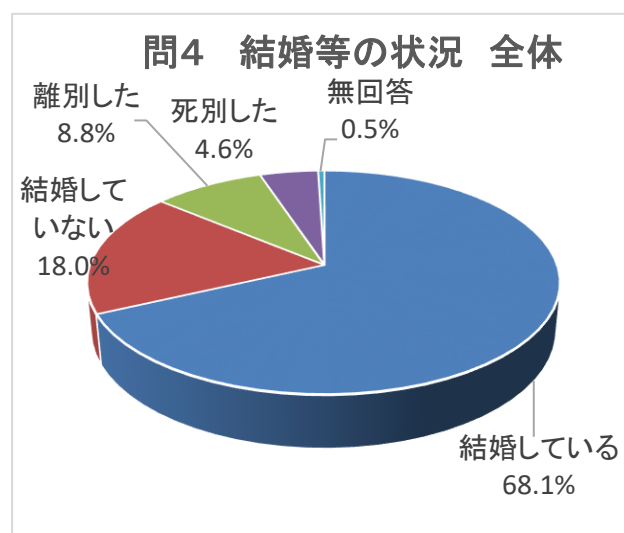
【問3】自身の職業

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経営者・管理職	22	5.4%	13	7.1%	9	4.0%	0	0.0%
自営業	12	2.9%	7	3.8%	5	2.2%	0	0.0%
勤め人(正規)	126	30.7%	68	36.9%	57	25.4%	1	50.0%
勤め人(派遣社員等)	79	19.3%	26	14.1%	52	23.2%	1	50.0%
家事専業	48	11.7%	1	0.5%	47	21.0%	0	0.0%
無職	96	23.4%	57	31.0%	39	17.4%	0	0.0%
学生	5	1.2%	4	2.2%	1	0.4%	0	0.0%
その他	19	4.6%	6	3.3%	13	5.8%	0	0.0%
無回答	3	0.7%	2	1.1%	1	0.4%	0	0.0%
合計	410	100.0%	184	100.0%	224	100.0%	2	100.0%



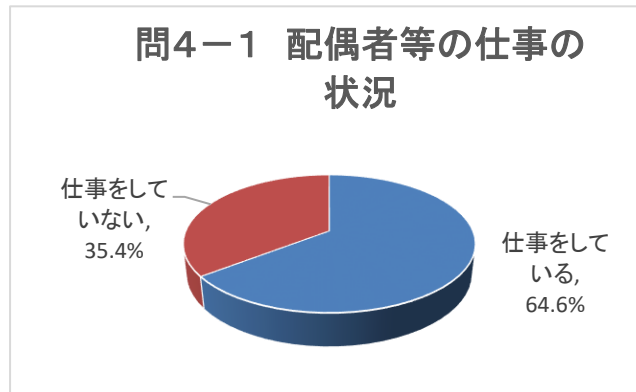
【問4】結婚(事実婚やパートナーシップ宣誓を含む)の状況

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
結婚している	279	68.1%	125	67.9%	152	67.9%	2	100.0%
結婚していない	74	18.0%	42	22.8%	32	14.3%	0	0.0%
離別した	36	8.8%	11	6.0%	25	11.2%	0	0.0%
死別した	19	4.6%	5	2.7%	14	6.3%	0	0.0%
無回答	2	0.5%	1	0.5%	1	0.4%	0	0.0%
合計	410	100.0%	184	100.0%	224	100.0%	2	100.0%



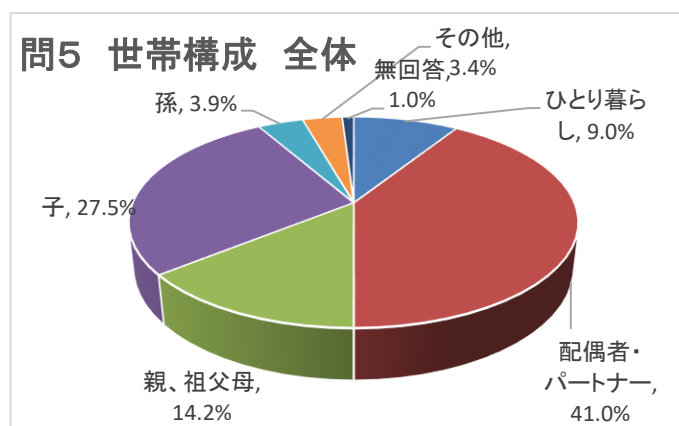
【問4-1】配偶者やパートナーの仕事の状況

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
仕事をしている	184	64.6%	76	58.9%	106	68.8%	2	100.0%
仕事をしていない	101	35.4%	53	41.1%	48	31.2%	0	0.0%
合計	285	100.0%	129	100.0%	154	100.0%	2	100.0%



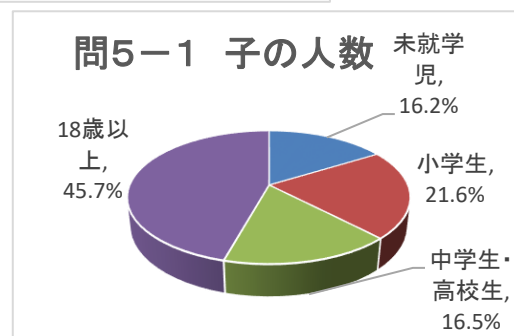
【問5】世帯構成(複数回答可)

区分	全体		男性		女性		性別無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ひとり暮らし	54	9.0%	29	11.2%	25	7.4%	0	0.0%
配偶者・パートナー	245	41.0%	104	40.3%	139	41.4%	2	66.7%
親、祖父母	85	14.2%	40	15.5%	45	13.4%	0	0.0%
子	164	27.5%	65	25.2%	98	29.2%	1	33.3%
孫	23	3.9%	9	3.5%	14	4.2%	0	0.0%
その他	20	3.4%	7	2.7%	13	3.9%	0	0.0%
無回答	6	1.0%	4	1.6%	2	0.6%	0	0.0%
合計	597	100.0%	258	100.0%	336	100.1%	3	100.0%



【問5-1】お子さんの状況(複数回答可)

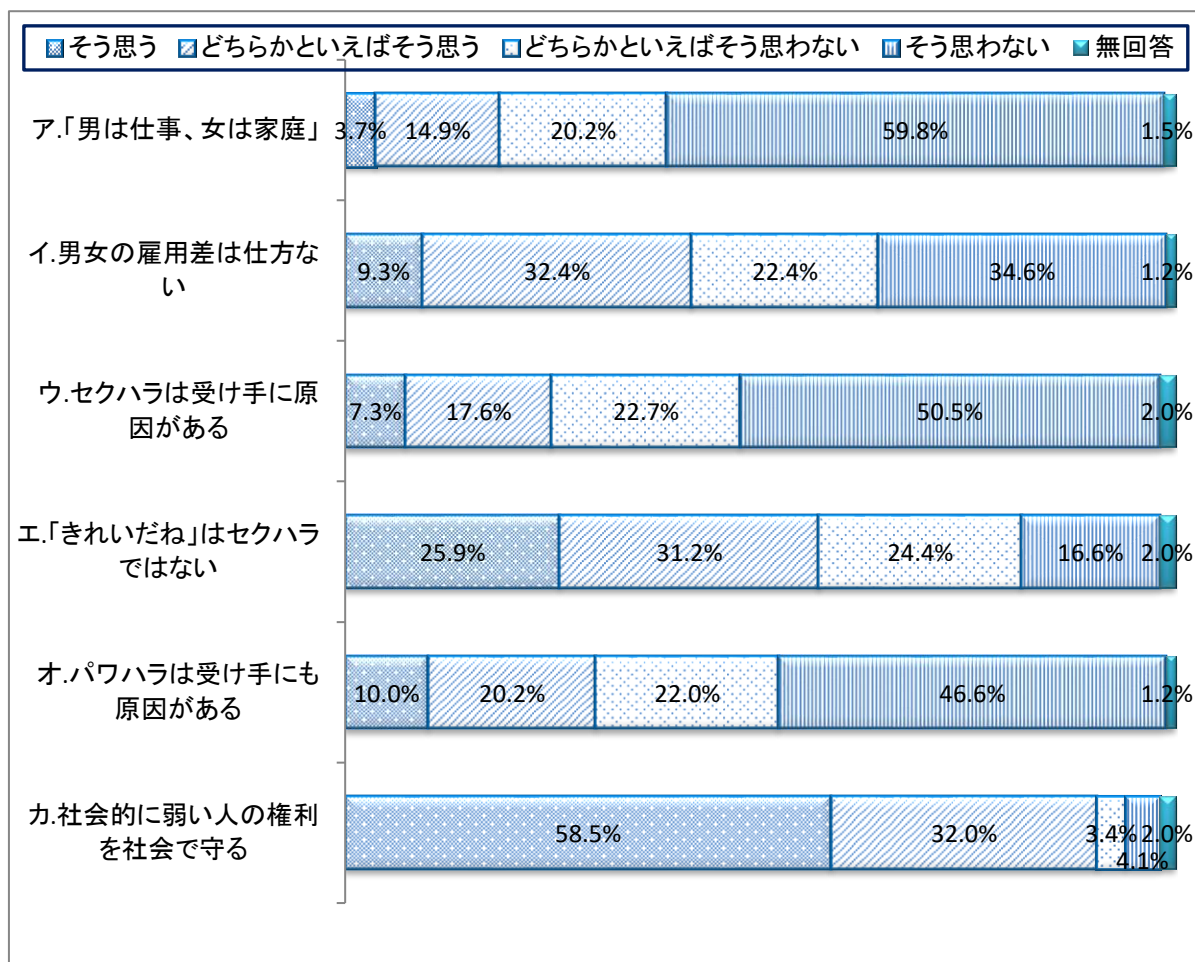
	人数	構成比
未就学児	47	16.2%
小学生	63	21.6%
中学生・高校生	48	16.5%
18歳以上	133	45.7%
合計	291	100%



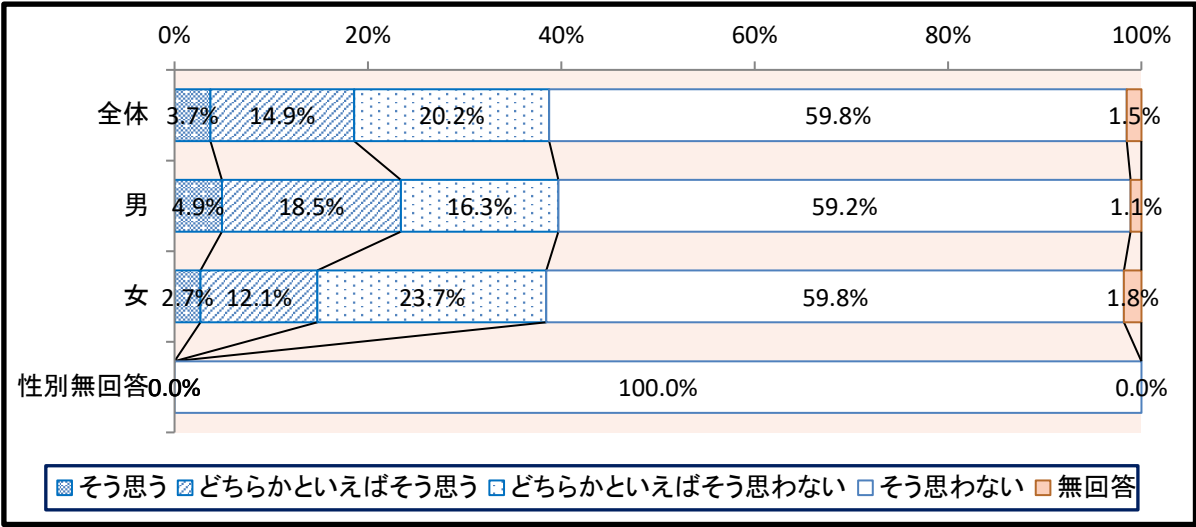
Ⅱ あなた自身の考え方や行動、体験などについてお聞きします。

【問6】次の項目について、ご自身のお考えに最も近いものを選択

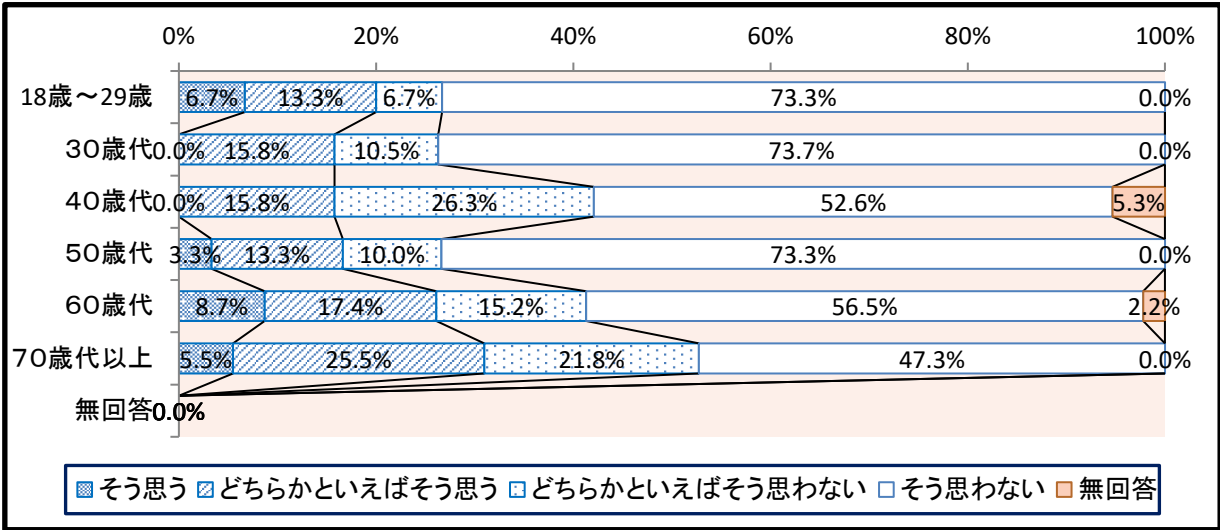
	項 目	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
ア	「男は仕事、女は家庭」という考えに賛成	3.7%	14.9%	20.2%	59.8%	1.5%
イ	女性は出産や子育てをする必要があるため、男性と雇用などで差がでるのは仕方がない	9.3%	32.4%	22.4%	34.6%	1.2%
ウ	セクシャル・ハラスメント《セクハラ》は、受ける側にも原因があると思う。	7.3%	17.6%	22.7%	50.5%	2.0%
エ	「今日はおしゃれだね」「きれいだね」は誉め言葉であって、セクシャル・ハラスメントには該当しない。	25.9%	31.2%	24.4%	16.6%	2.0%
オ	パワー・ハラスメント《パワハラ》は、受ける側にも原因があると思う。	10.0%	20.2%	22.0%	46.6%	1.2%
カ	社会的に弱い立場にある人の権利は、社会全体で守る必要がある。	58.5%	32.0%	3.4%	4.1%	2.0%



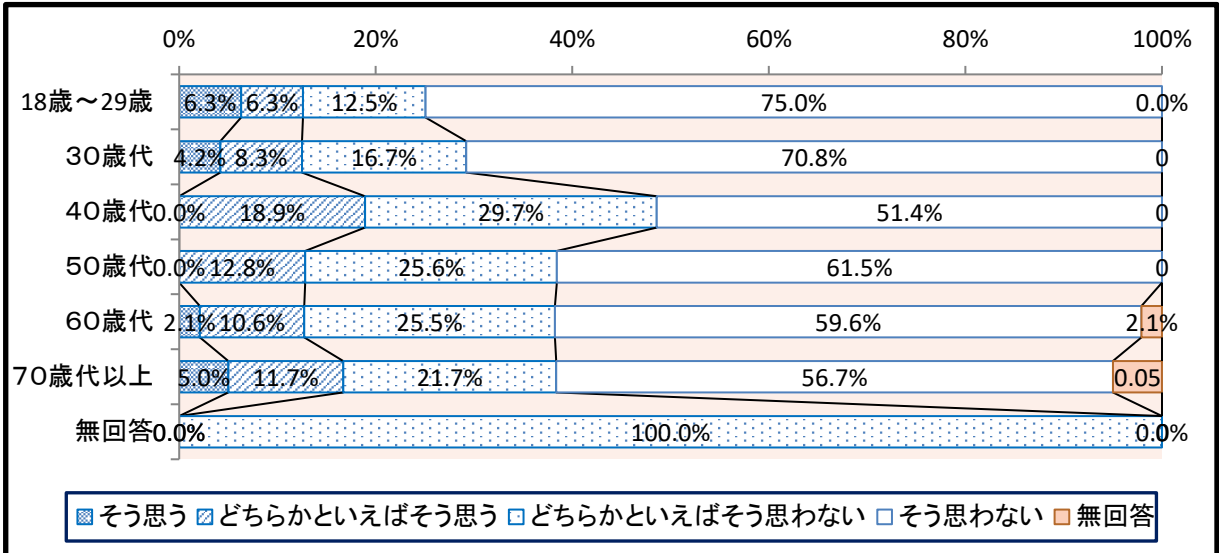
ア 「男は仕事、女は家庭」という考えに賛成



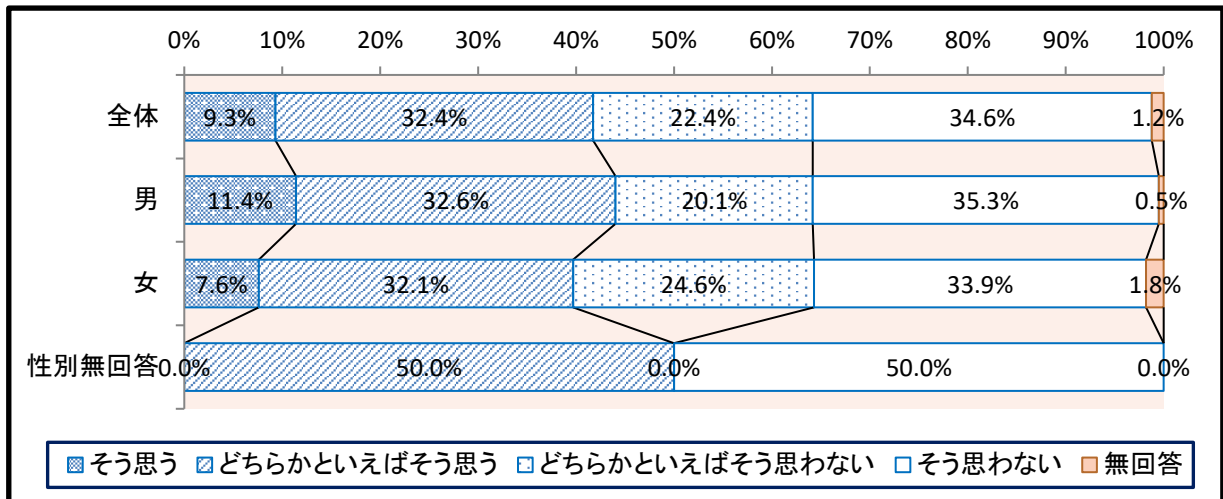
★男性



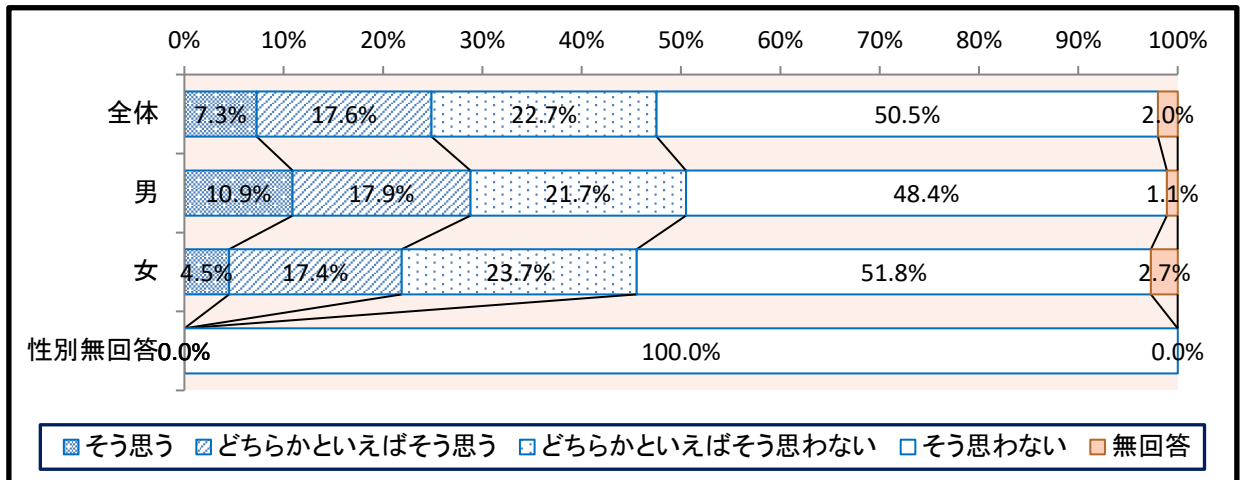
★女性



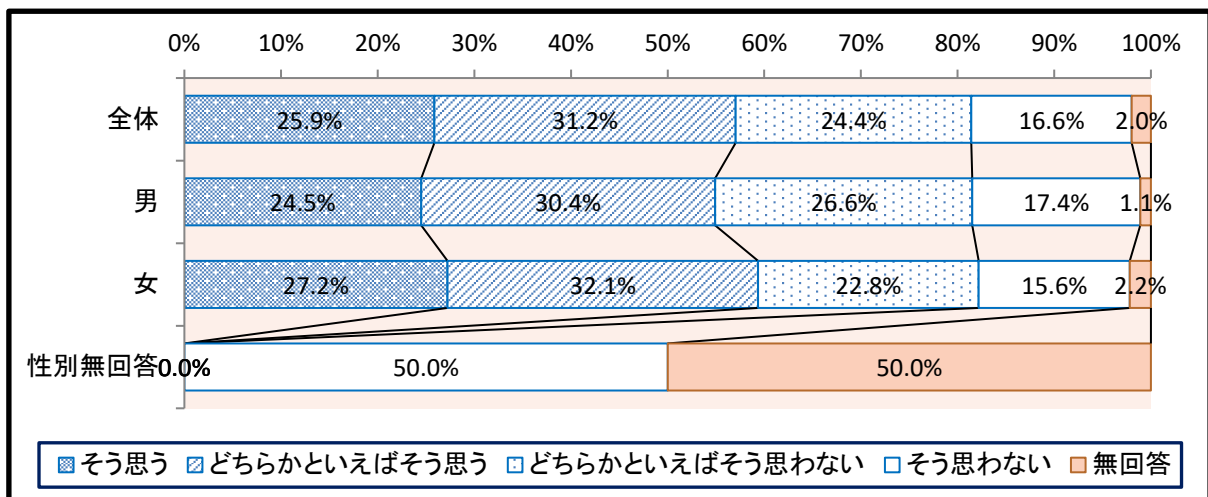
イ 女性は出産や子育てをしなければならないため、男性と雇用などで差がでるのは仕方がない。



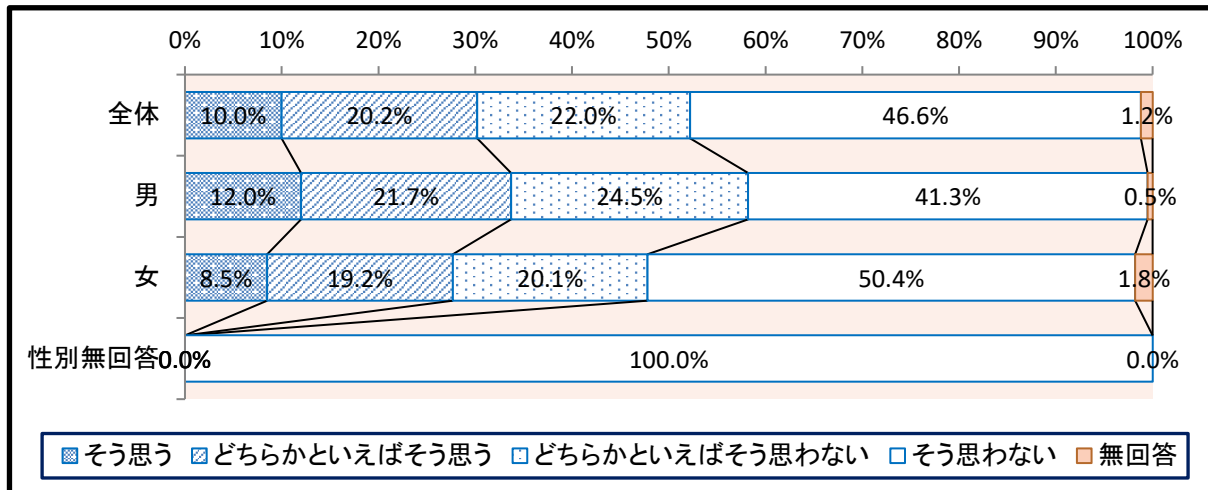
ウ セクシャル・ハラスメント《セクハラ》は、受ける側にも原因があると思う。



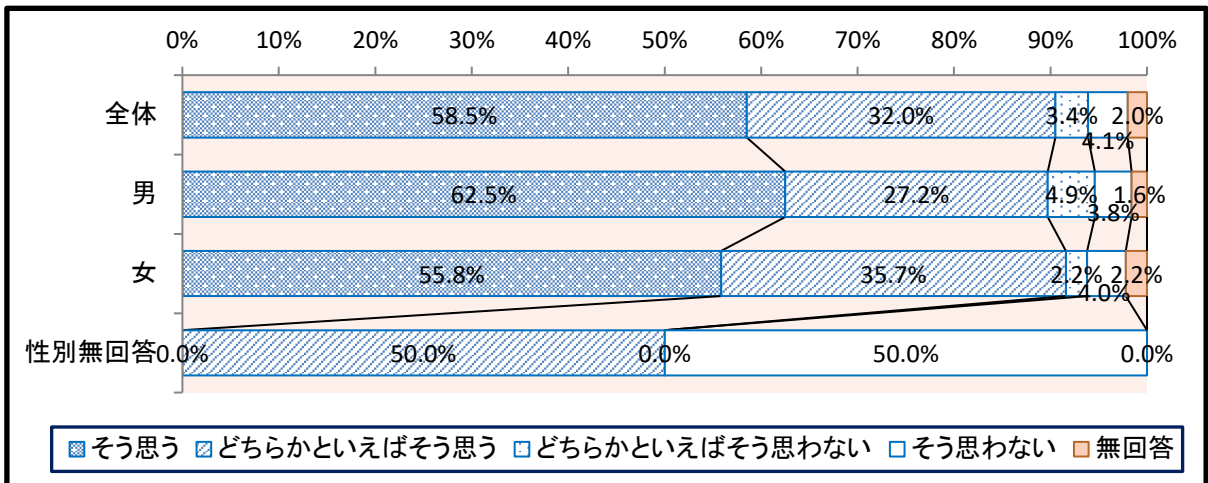
エ 「今日はおしゃれだね」「きれいだね」は誉め言葉であって、セクシャル・ハラスメントには該当しない。



オ パワー・ハラスメント《パワハラ》は、受ける側にも原因があると思う。



カ 社会的に弱い立場にある人の権利は、社会全体で守る必要がある。



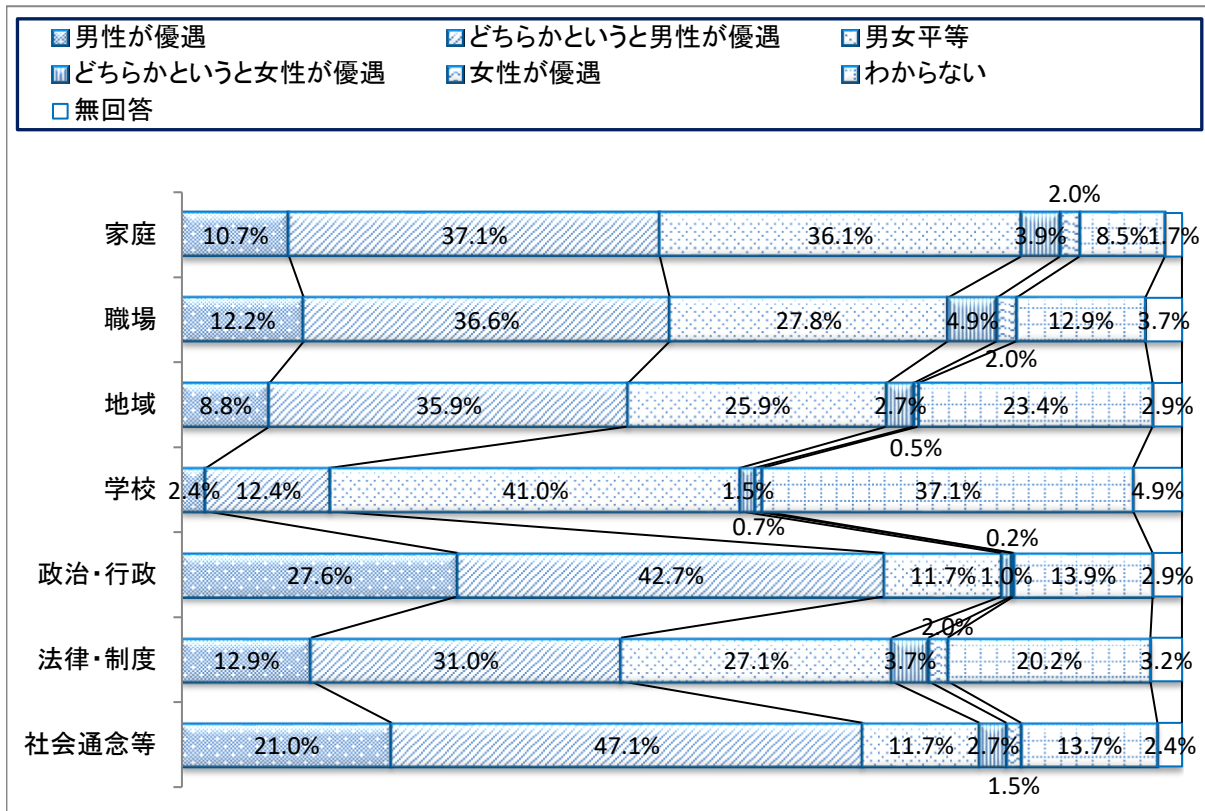
《分析》

- ◆ ア「男は仕事、女は家庭」という考えに、「そう思わない」と明確に反対している人の割合が、全体で59.8% 男性59.2% 女性59.8%となっており、前回(全体22.3% 男性16.9% 女性26.8%)より2倍以上多くなっている。
年代別に見ると、「そう思わない」について、男性の40歳代、60歳代が50%台、男性の70歳以上が40%台、女性の40歳代、60歳代以上が50%台となっており、他の年代より20ポイント近く少ない。
- ◆ イ「女性は出産や子育てをする必要があるため、男性と雇用などで差がでるのは仕方がない」は、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、全体で41.7%となっている。

Ⅲ 男女共同参画に関する考えについてお聞きます。

【問7】 あなたは次の各項目の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つ) ()内は前回(5年前)の数字

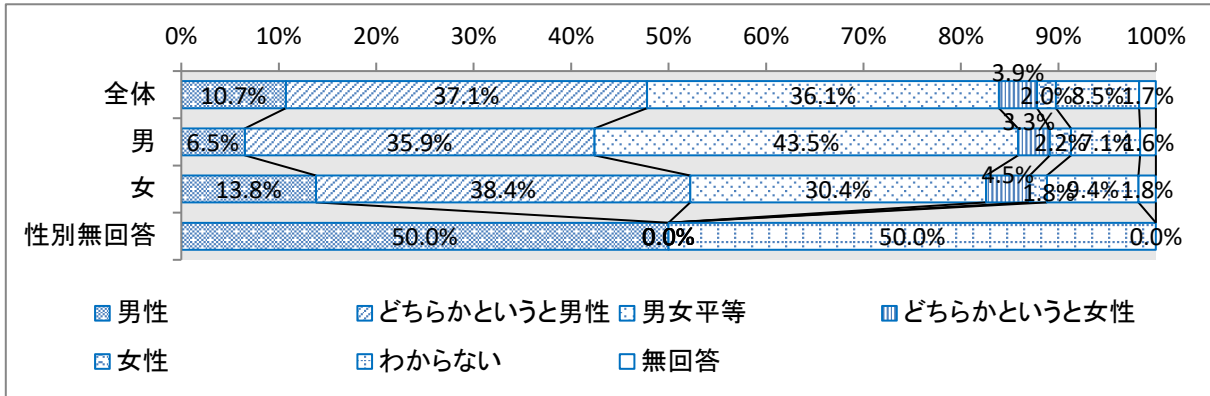
項目	男性が優遇	どちらかという と男性が 優遇	男女 平等	どちらか という と女性 が優遇	女性が 優遇	わから ない	無回答
1 家庭で	10.7% (8.2%)	37.1% (36.6%)	36.1% (32.0%)	3.9% (6.4%)	2.0% (1.5%)	8.5% (11.0%)	1.7% (4.3%)
2 職場で	12.2% (14.3%)	36.6% (31.7%)	27.8% (20.4%)	4.9% (6.7%)	2.0% (0.9%)	12.9% (16.5%)	3.7% (9.5%)
3 地域で	8.8% (8.5%)	35.9% (30.8%)	25.9% (22.9%)	2.7% (1.5%)	0.5% (1.2%)	23.4% (26.5%)	2.9% (8.5%)
4 学校で	2.4% (2.1%)	12.4% (11.9%)	41.0% (36.0%)	1.5% (1.8%)	0.7% (0.9%)	37.1% (37.2%)	4.9% (10.1%)
5 政治や行政の場で	27.6% (25.0%)	42.7% (36.3%)	11.7% (10.7%)	1.0% (2.1%)	0.2% (0.9%)	13.9% (18.0%)	2.9% (7.0%)
6 法律や制度上で	12.9% (14.0%)	31.0% (25.3%)	27.1% (25.9%)	3.7% (4.6%)	2.0% (1.8%)	20.2% (21.7%)	3.2% (6.7%)
7 社会通念・慣習などで	21.0% (23.8%)	47.1% (36.0%)	11.7% (14.0%)	2.7% (3.1%)	1.5% (0.9%)	13.7% (15.9%)	2.4% (6.4%)



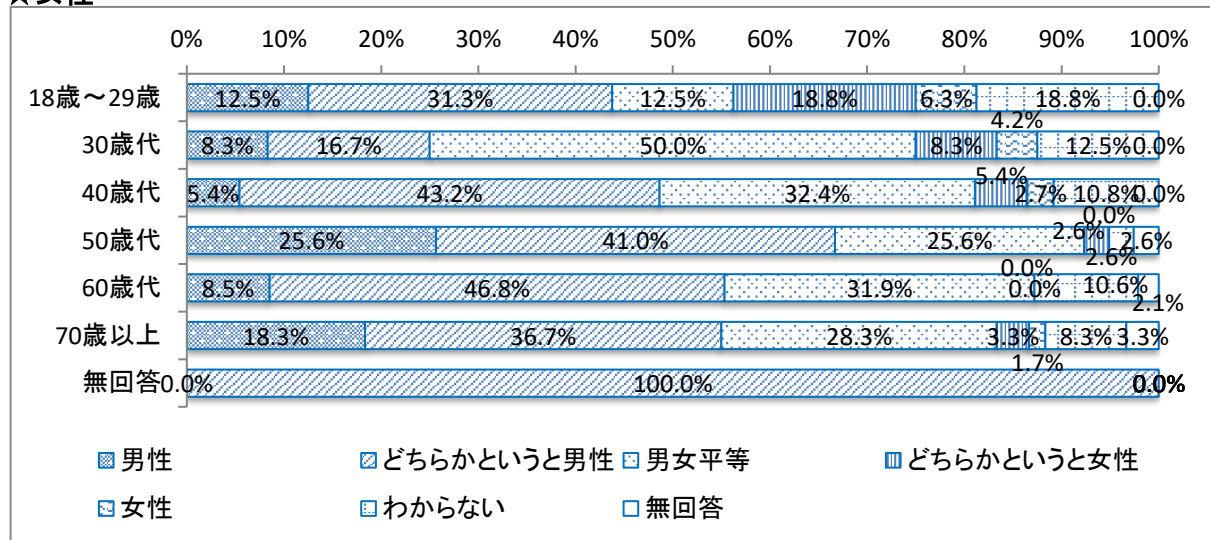
《分析》

- ◆「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合は、『政治・行政』(70.3%) (前回 61.3%) と『社会通念・慣習など』(68.1%) (前回 59.8%) が前回調査と同様に多くなっている。
- ◆「男女平等」の割合は、『学校』(41.0%) が最も多く、次いで『家庭』(36.1%) となっている。
- ◆「どちらかというと女性が優遇」「女性が優遇」を合わせた割合は、すべての項目で7%未満となっている。

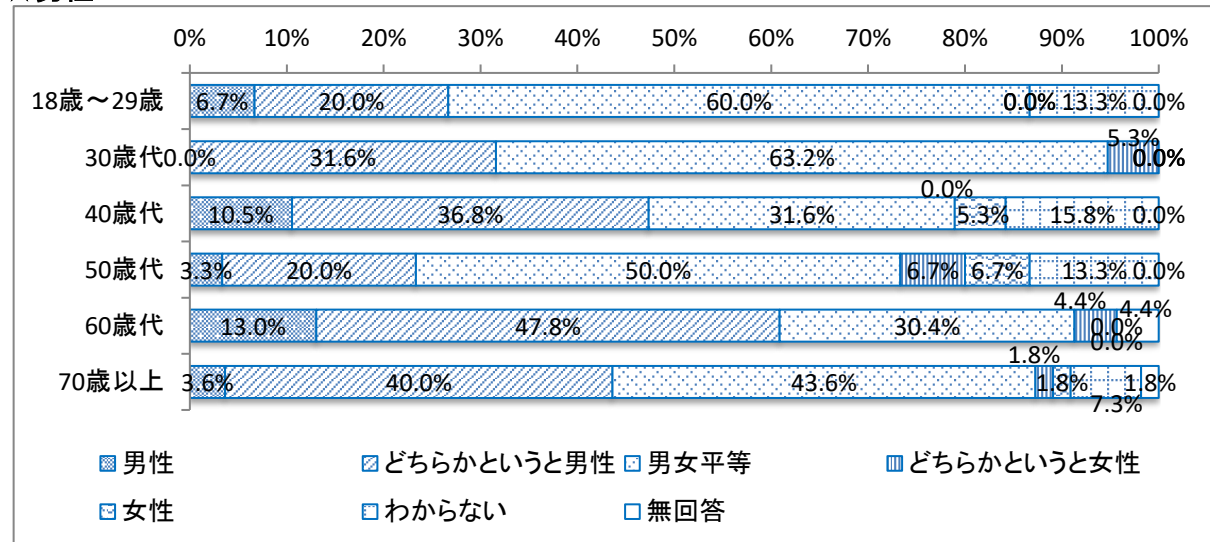
1 家庭で



★女性



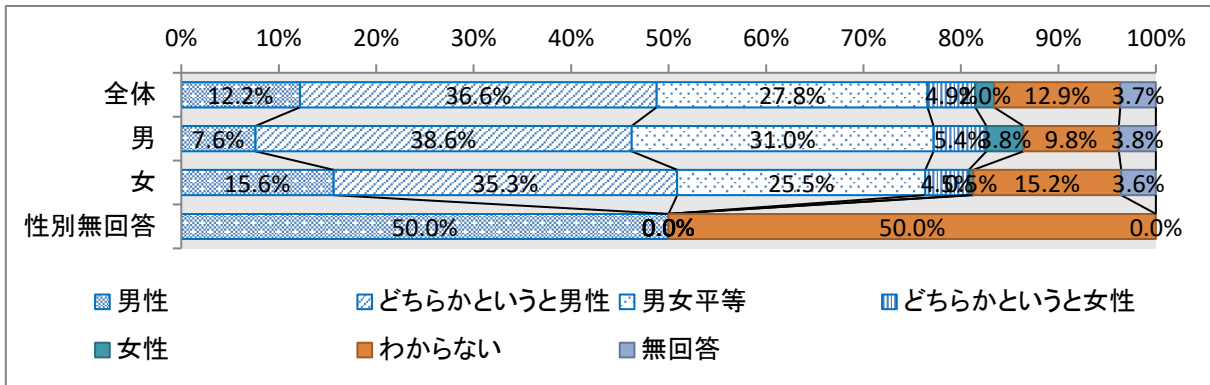
★男性



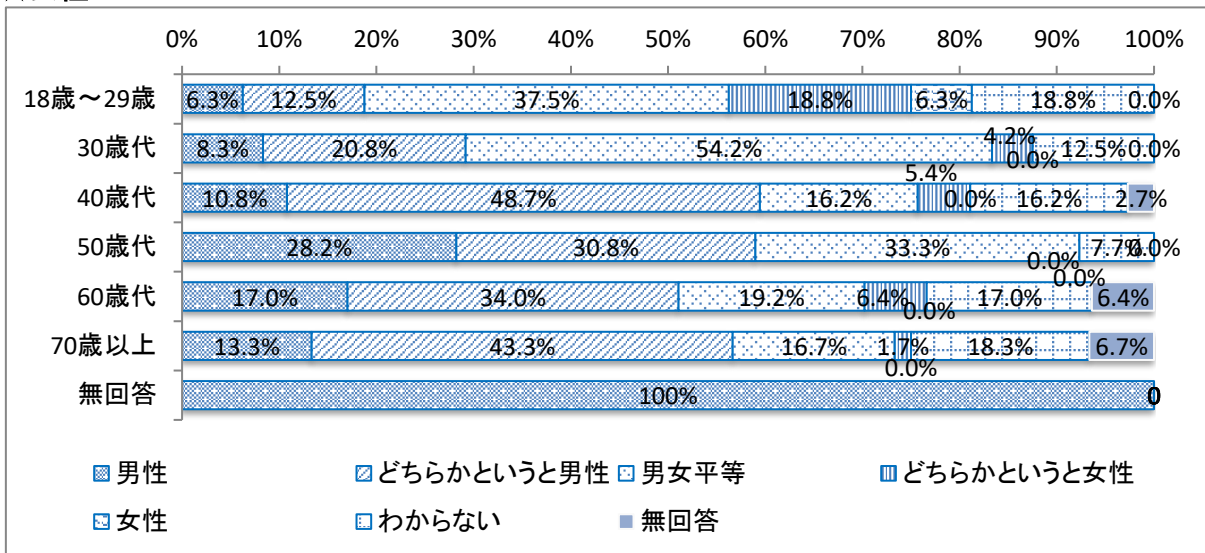
《分析》

- ◆「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合は、女性では52.2%、男性では42.4%となっており、男女の意識の差は9.8ポイントある。
- ◆「男女平等」の割合は、女性では30.4%、男性では43.5%となっており、男女の意識の差は13.1ポイントある。

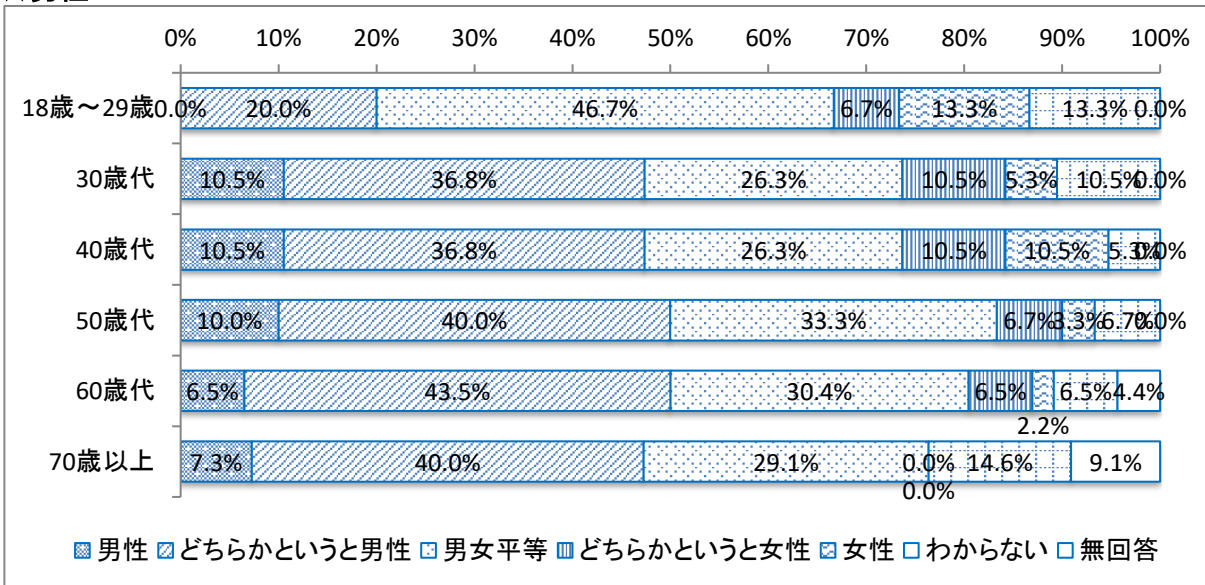
2 職場で



★女性



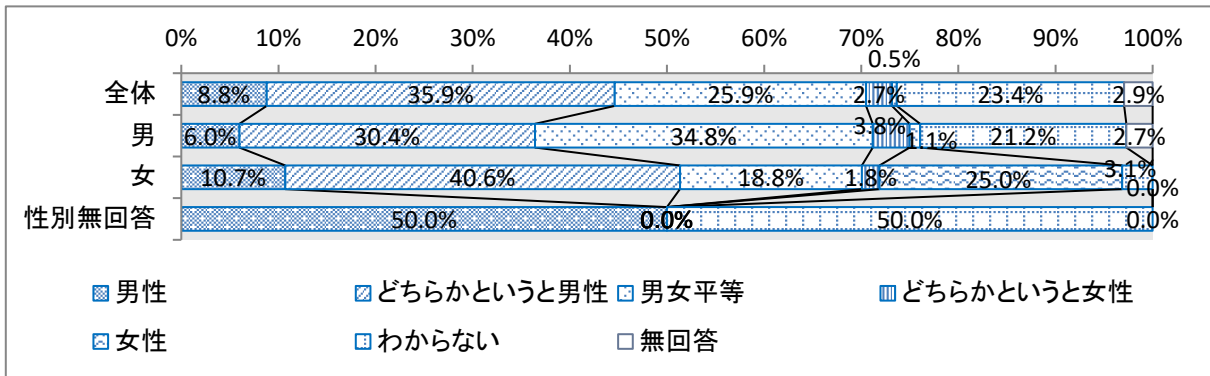
★男性



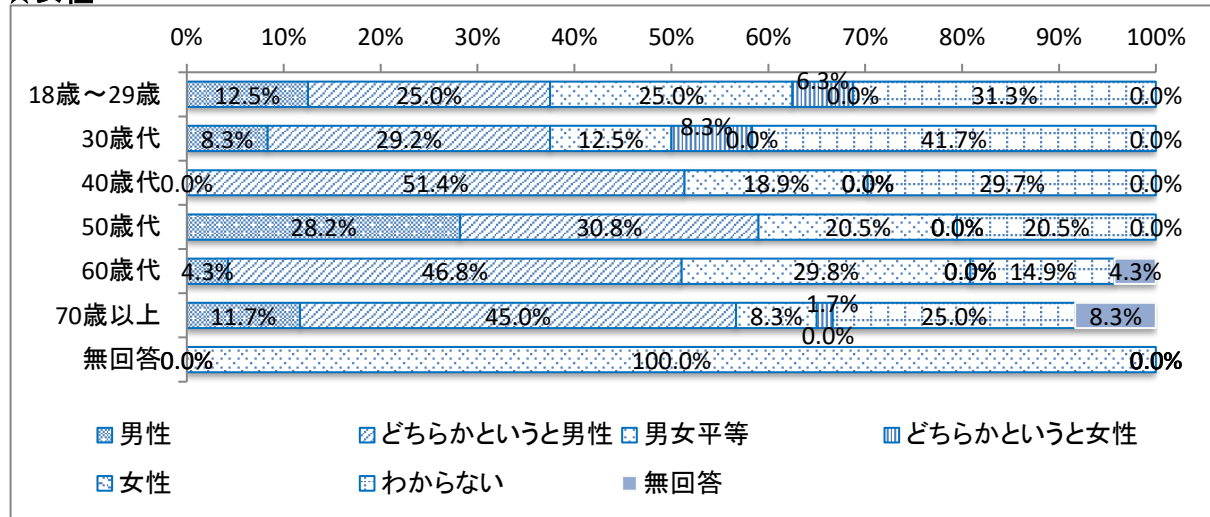
《分析》

- ◆「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合は、女性では40歳代以上から、50%以上となっている。
男性では、30歳代以上から40%～50%となっている。

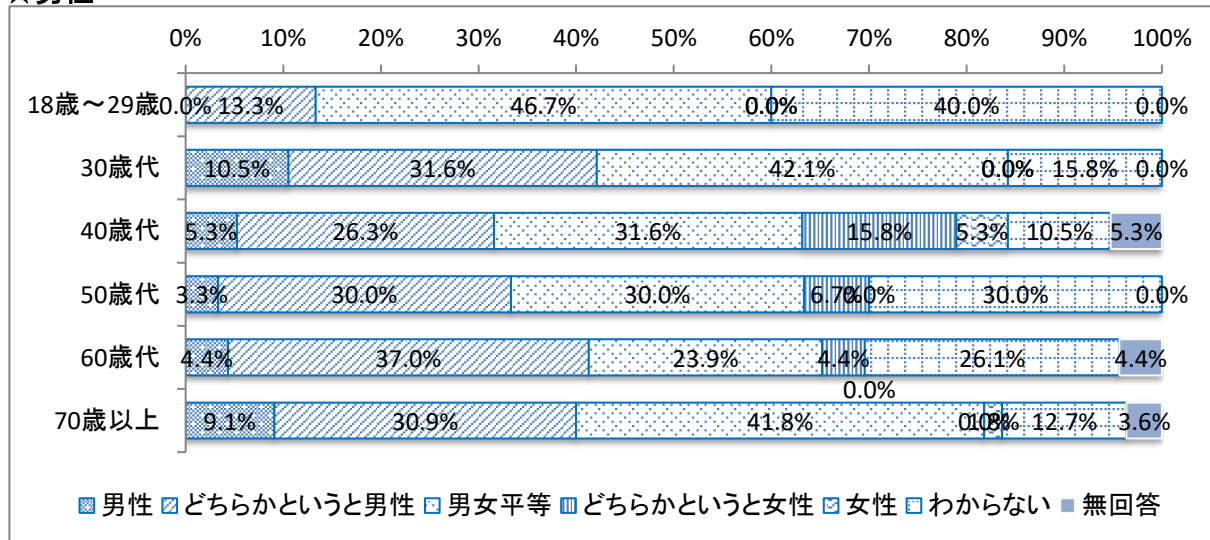
3 地域で



★女性



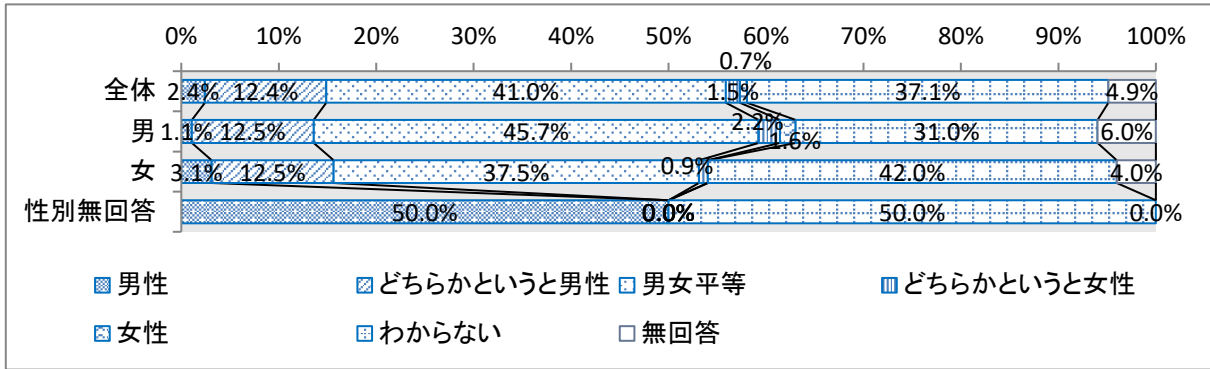
★男性



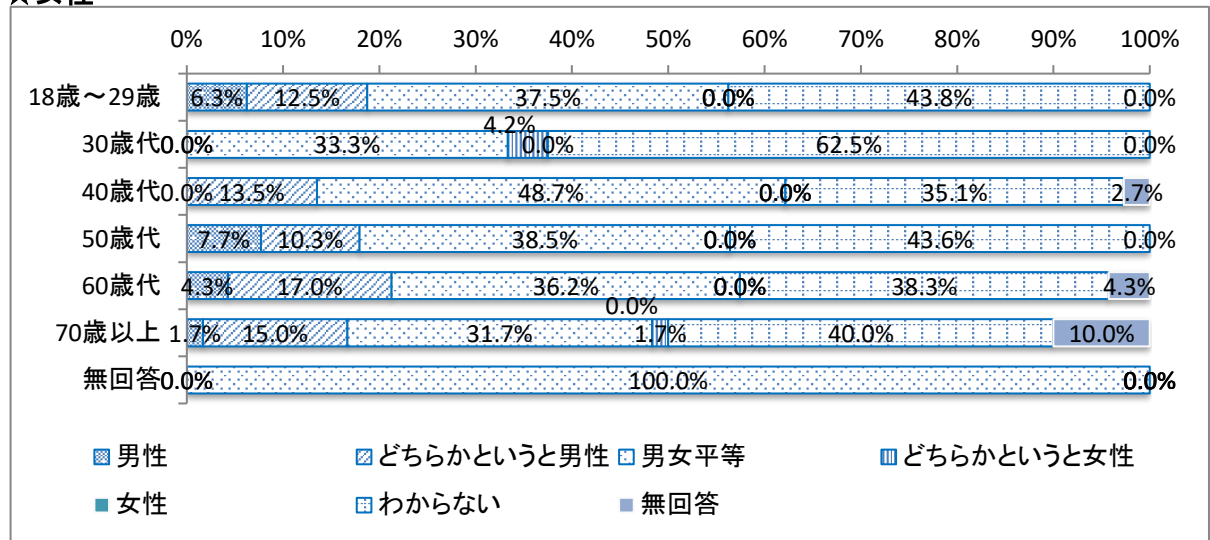
《分析》

- ◆「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合は、女性では40歳代以上が50%以上となっている。男性では、30歳代が42.1%、60歳代が41.4%となっている。
- ◆「男女平等」の割合が、女性では、すべての年代で30%以下、男性では、20歳代以下、30歳代、70歳以上が40%代となっている。男女の意識の差は16ポイントある。

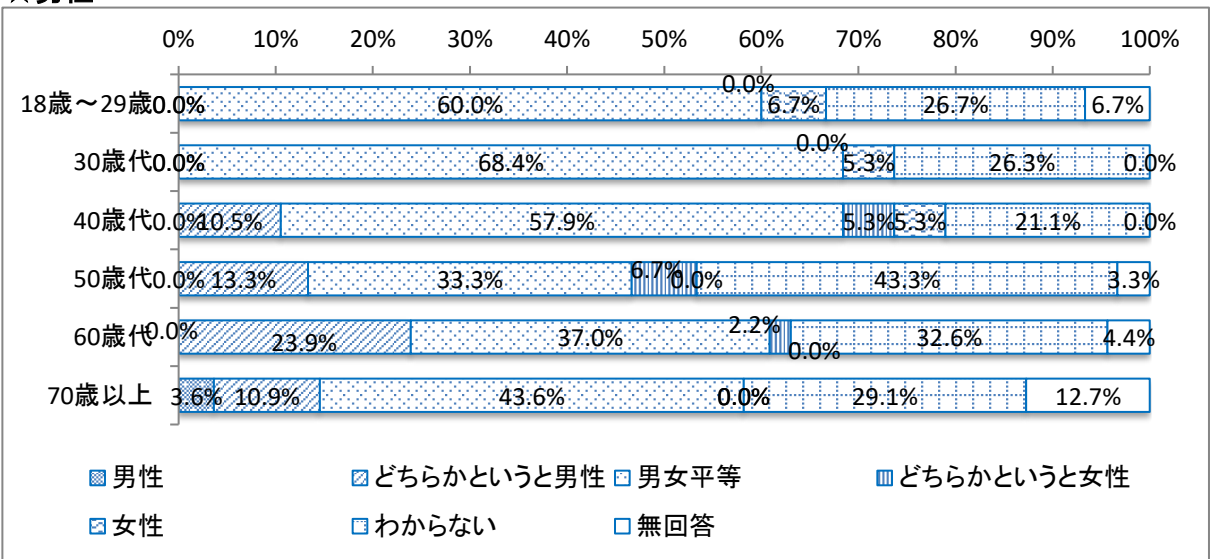
4 学校で



★女性



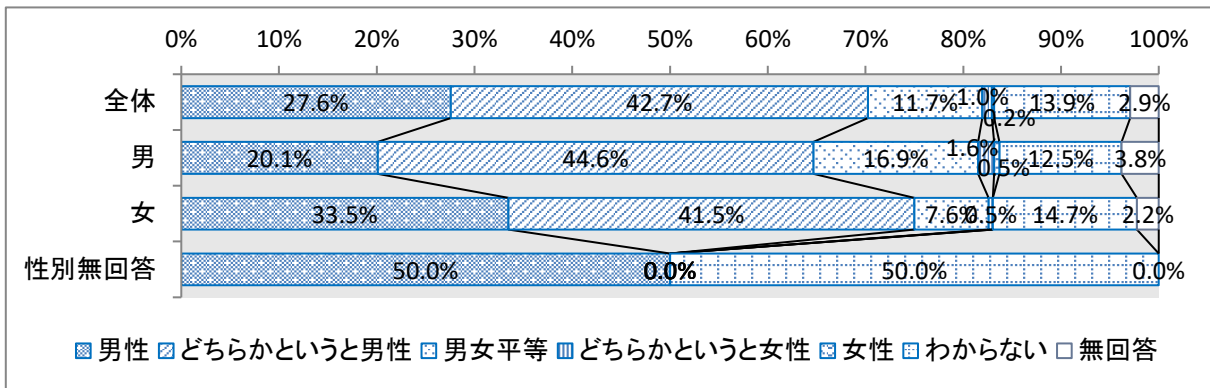
★男性



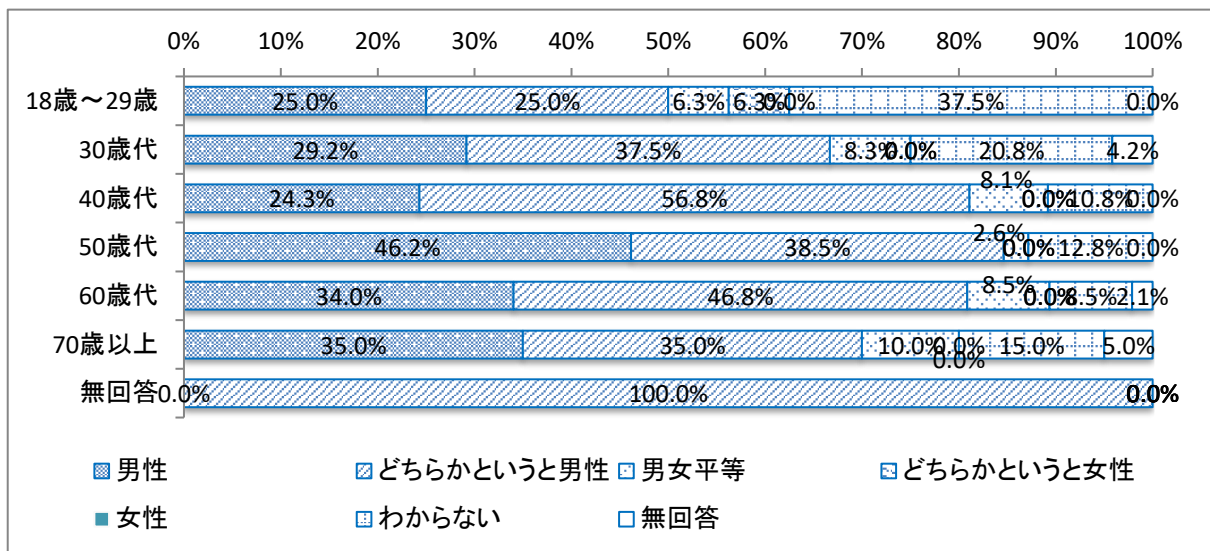
《分析》

- ◆他の場合と比べて、全体として「男女平等」の割合が41.0%と最も多い。「男女平等」の男女の意識の差は、8.2ポイントある。

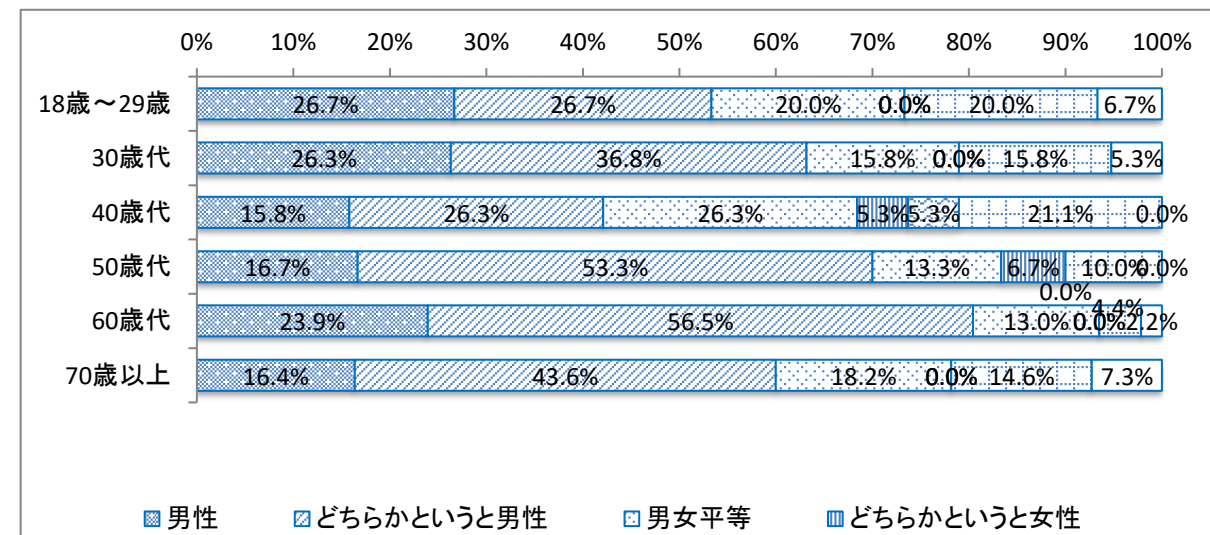
5 政治や行政の場で



★女性



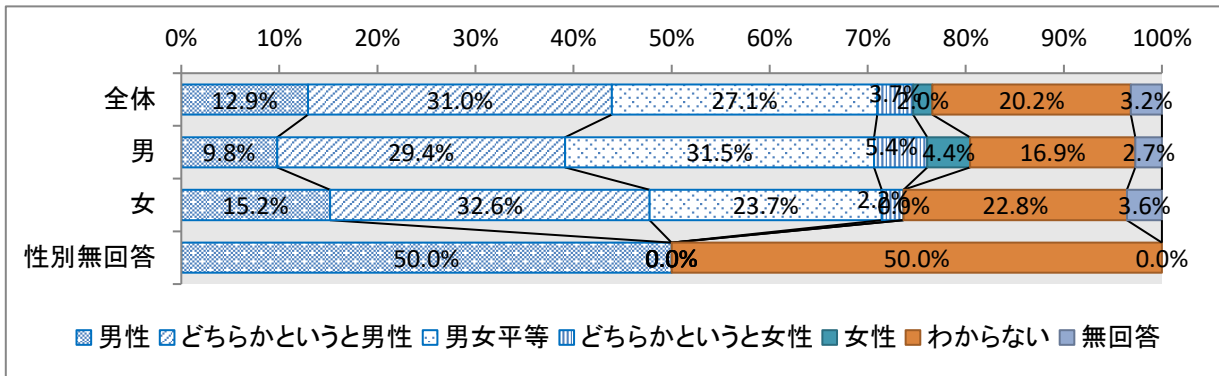
★男性



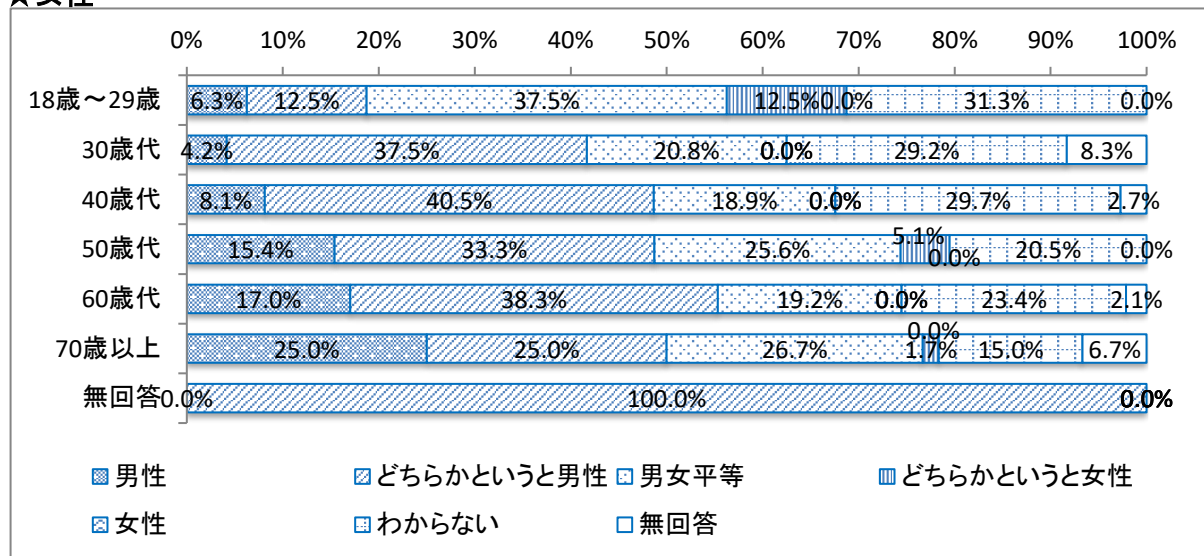
《分析》

◆「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合は、男性が64.7%、女性が75%となっており、他の場面と比べて多い。

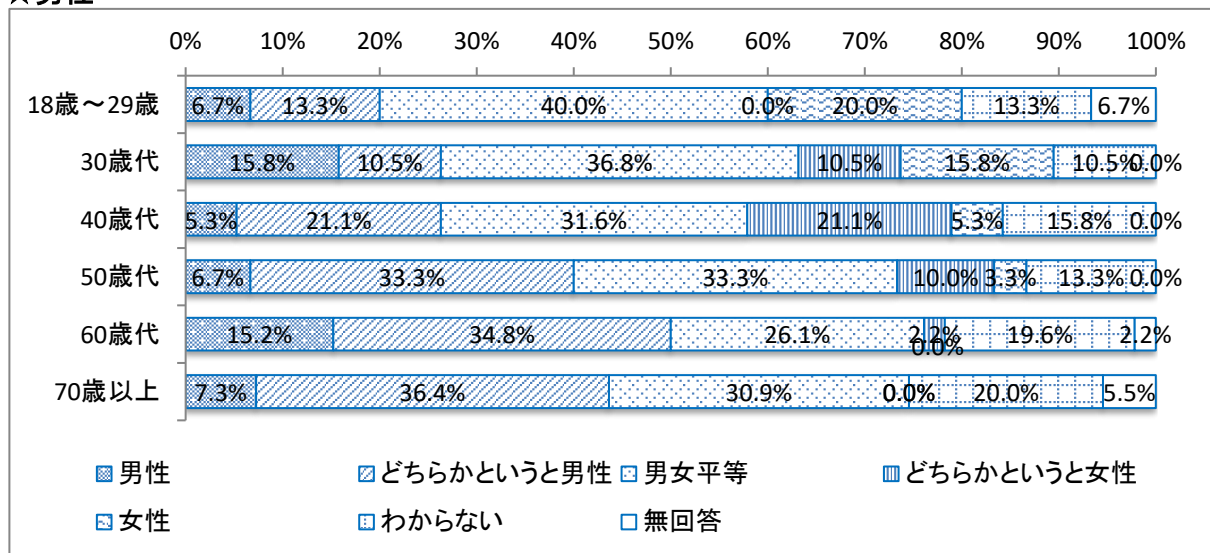
6 法律や制度上で



★女性



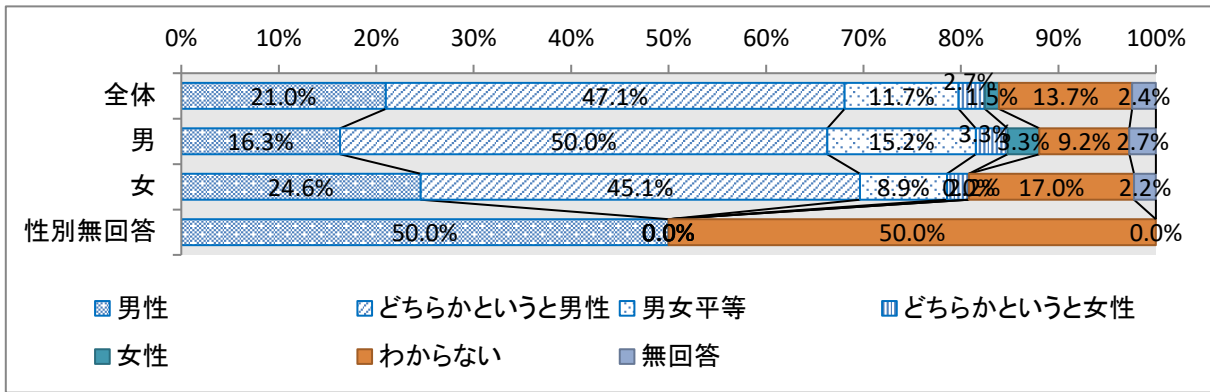
★男性



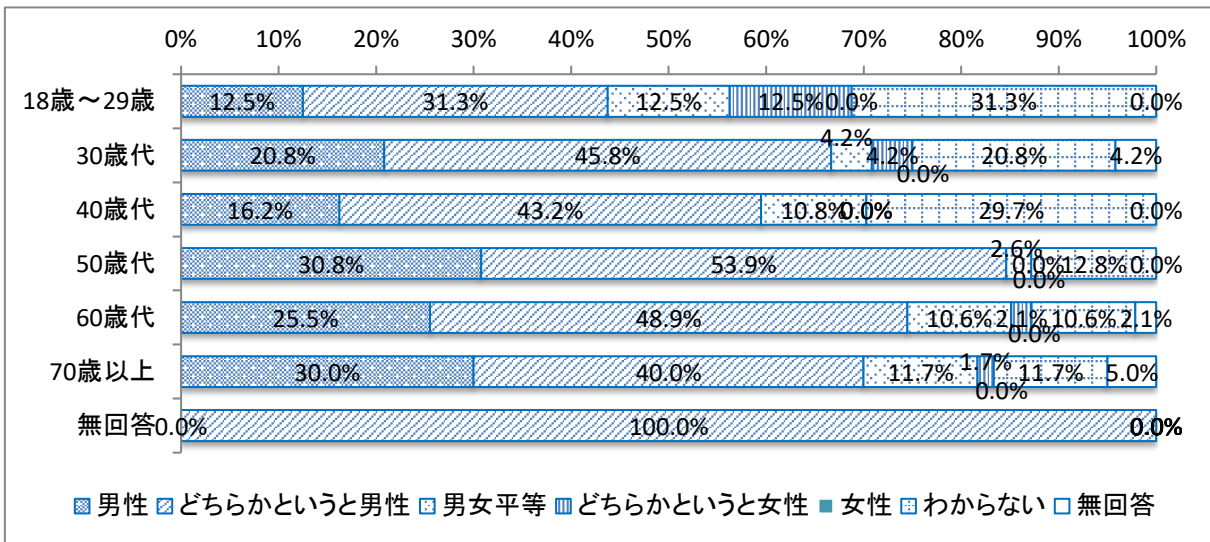
《分析》

◆「男女平等」の割合が、女性では23.7%、男性では31.5%となっており、男女の意識の差は7.8ポイントある。

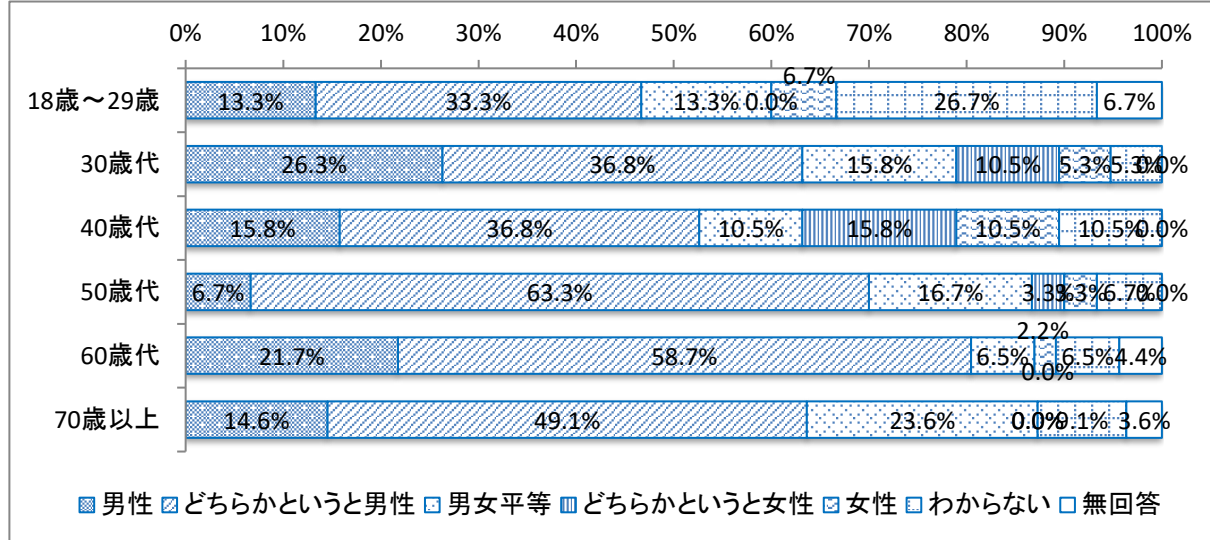
7 社会通念・慣習などで



★女性



★男性



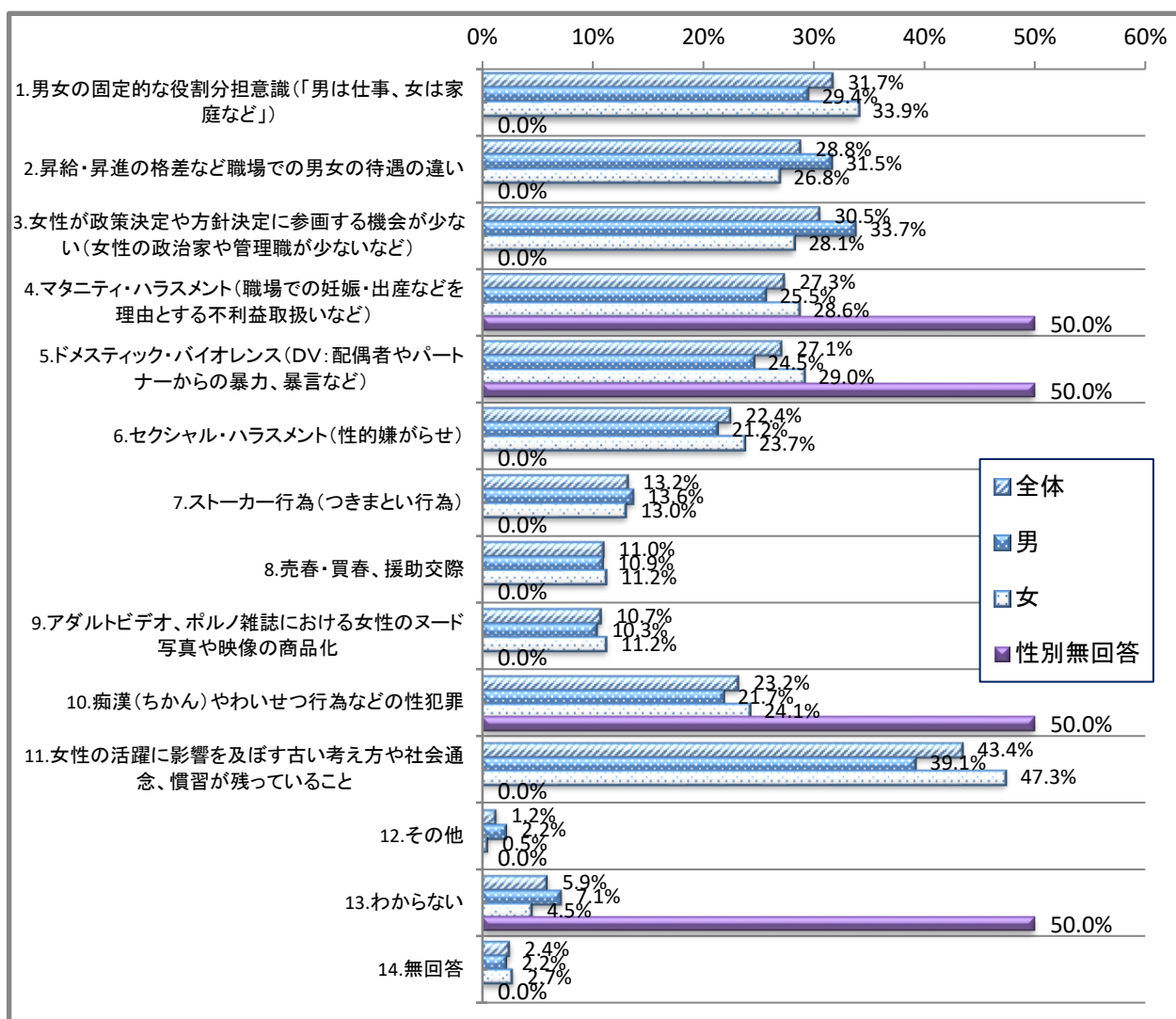
《分析》

◆『政治や行政』に次ぎ、「男性が優遇」「どちらかというと男性が優遇」を合わせた割合が68.1%と多く、前回調査(59.8%)より8.3ポイント増となり多い状況。

【問8】女性に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことだと思いますか。

(〇は3つまで)

	項目	全体	男	女	性別無回答
1	男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭など」)	31.7%	29.4%	33.9%	0.0%
2	昇給・昇進の格差など職場での男女の待遇の違い	28.8%	31.5%	26.8%	0.0%
3	女性が政策決定や方針決定に参画する機会が少ない(女性の政治家や管理職が少ないなど)	30.5%	33.7%	28.1%	0.0%
4	マタニティ・ハラスメント(職場での妊娠・出産などを理由とする不利益取扱いなど)	27.3%	25.5%	28.6%	50.0%
5	ドメスティック・バイオレンス(DV:配偶者やパートナーからの暴力、暴言など)	27.1%	24.5%	29.0%	50.0%
6	セクシャル・ハラスメント(性的嫌がらせ)	22.4%	21.2%	23.7%	0.0%
7	ストーカー行為(つきまとい行為)	13.2%	13.6%	13.0%	0.0%
8	売春・買春、援助交際	11.0%	10.9%	11.2%	0.0%
9	アダルトビデオ、ポルノ雑誌における女性のヌード写真や映像の商品化	10.7%	10.3%	11.2%	0.0%
10	痴漢(ちかん)やわいせつ行為などの性犯罪	23.2%	21.7%	24.1%	50.0%
11	女性の活躍に影響を及ぼす古い考え方や社会通念、慣習が残っていること	43.4%	39.1%	47.3%	0.0%
12	その他	1.2%	2.2%	0.5%	0.0%
13	わからない	5.9%	7.1%	4.5%	50.0%
14	無回答	2.4%	2.2%	2.7%	0.0%



《分析》

◆全体として、「女性の活躍に影響を及ぼす古い考え方や社会通念、慣習が残っていること」の割合が43.4%と、突出して多くなっている。

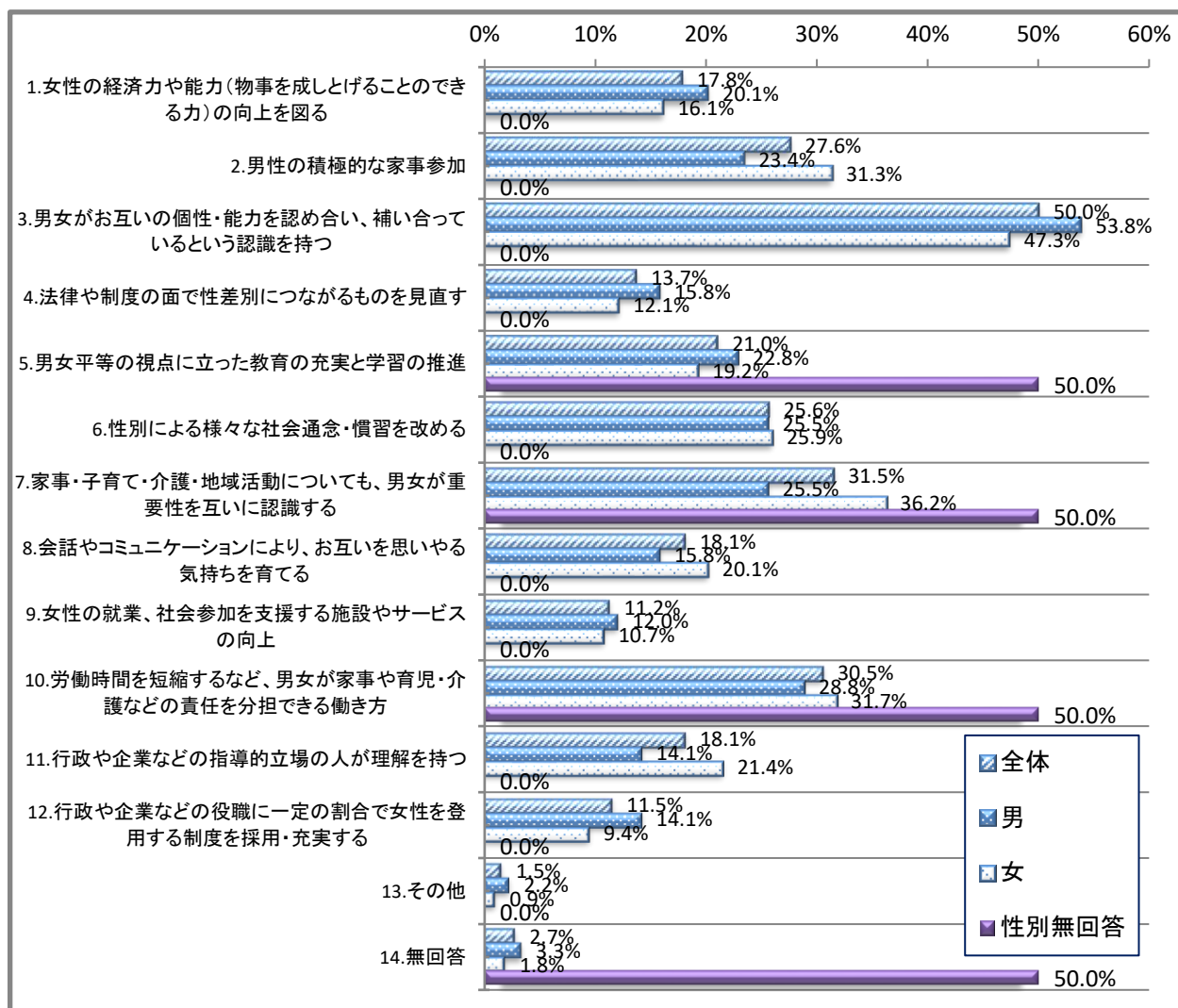
◆次いで割合が多いのは、女性では「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭など」)(33.9%)、「ドメスティック・バイオレンス(DV:配偶者やパートナーからの暴力、暴言など」)(29.0%)、「マタニティ・ハラスメント(職場での妊娠・出産などを理由とする不利益取扱いなど」)(28.6%)、「女性が政策決定や方針決定に参画する機会が少ない(女性の政治家や管理職が少ないなど」)(28.1%)、「昇給・昇進の格差など職場での男女の待遇の違い」(26.8%)項目で25%を超えている。

男性では、「女性が政策決定や方針決定に参画する機会が少ない(女性の政治家や管理職が少ないなど」)(33.7%)、「昇給・昇進の格差など職場での男女の待遇の違い」(31.5%)、「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭など」)(29.4%)「マタニティ・ハラスメント(職場での妊娠・出産などを理由とする不利益取扱いなど」)(25.5%)となっている。

【問9】男女が平等な立場で協力しあっていくためには、特にどんなことが大切だと思いますか。

(〇は3つまで)

	項目	全体	男	女	性別無回答
1	女性の経済力や能力(物事を成しとげることのできる力)の向上を図る	17.8%	20.1%	16.1%	0.0%
2	男性の積極的な家事参加	27.6%	23.4%	31.3%	0.0%
3	男女がお互いの個性・能力を認め合い、補い合っているという認識を持つ	50.0%	53.8%	47.3%	0.0%
4	法律や制度の面で性差別につながるものを見直す	13.7%	15.8%	12.1%	0.0%
5	男女平等の視点に立った教育の充実と学習の推進	21.0%	22.8%	19.2%	50.0%
6	性別による様々な社会通念・慣習を改める	25.6%	25.5%	25.9%	0.0%
7	家事・子育て・介護・地域活動についても、男女が重要性を互いに認識する	31.5%	25.5%	36.2%	50.0%
8	会話やコミュニケーションにより、お互いを思いやる気持ちを育てる	18.1%	15.8%	20.1%	0.0%
9	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの向上	11.2%	12.0%	10.7%	0.0%
10	労働時間を短縮するなど、男女が家事や育児・介護などの責任を分担できる働き方	30.5%	28.8%	31.7%	50.0%
11	行政や企業などの指導的立場の人が理解を持つ	18.1%	14.1%	21.4%	0.0%
12	行政や企業などの役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実する	11.5%	14.1%	9.4%	0.0%
13	その他	1.5%	2.2%	0.9%	0.0%
14	無回答	2.7%	3.3%	1.8%	50.0%



《分析》

- ◆全体として、「男女がお互いの個性・能力を認め合い、補い合っているという認識を持つ」の割合が50.0%と、突出して多くなっている。
 - ◆次いで割合が多いのは、女性では「家事・子育て・介護・地域活動についても、男女が重要性を互いに認識する」(36.2%)、「労働時間を短縮するなど、男女が家事や育児・介護などの責任を分担できる働き方」(31.7%)、「男性の積極的な家事参加」(31.3%)となっており、以上の項目で30%を超えている。
- 男性では、「労働時間を短縮するなど、男女が家事や育児・介護などの責任を分担できる働き方」(28.8%)、「性別による様々な社会通念・慣習を改める」(25.5%)、「家事・子育て・介護・地域活動についても、男女が重要性を互いに認識する」(25.5%)となっている。